

# AR020 を AR040 に装着して使用する 場合のご注意

## アライドテレシス株式会社

AR740 に装着された AR040（4 PIC ベイ拡張ユニット）の PIC ベイに AR020（PRI インターフェース）を装着する場合は、以下の点に注意してご使用いただけますようお願い申し上げます。

## 設定追加のお願い

ハードウェアリビジョン **A7** または **A7X** の AR020 を AR040 に装着してご使用になる場合、以下に示す設定の追加をしていただく必要があります。以下の設定を行わない場合、回線の交換機と AR020 の間のリンクが確立せず（ACT LED が消灯）、WAN に対する通信が行えません。

ハードウェアリビジョンは、AR020 裏面に貼付されたシリアル番号シールに記載されています。また、同一のシリアル番号シールが予備として AR020 のパッケージに同梱されています。コマンドによる AR020 ハードウェアリビジョンの確認はできません。

(例)



## 設定追加の内容

### ファームウェア Ver.2.2.2 Pl.6

#### ●これから AR740 に対する設定を開始する場合

1. ユーザー「manager」でログインし<sup>\*1</sup>、最初に次の3つのコマンドを順番に実行した後に<sup>\*2</sup>、設定作業を開始してください。MOD コマンドのパラメーターは、間違わないよう、注意して入力してください。これらのコマンドの入力により、AR040、AR020 が正しく初期化されます。

```
login: manager   
Password: friend   
  
Manager > MOD A=4FD62C S=B V=1   
  
Manager > MOD A=4FD6AC S=B V=2   
  
Manager > RESTART ROUTER 
```

2. AR740 に対する設定を開始してください（AR040 に装着された AR020 に関連する設定を施してください）。設定が完了したら、CREATE CONFIG コマンドにより設定ファイルを作成し、SET CONFIG コマンドにより作成した設定ファイルが起動時に読み込まれるように指定してください。詳しくは、AR740 取扱説明書の「3 起動・設定の保存・再起動」をご覧ください。

#### ●設定を施した後の再起動

MOD、RESTART コマンドは、CREATE CONFIG コマンドで作成される設定ファイルに保存されません。運用時における再起動（設定が完了した後の再起動）は、次の手順で行ってください。

1. AR740 の電源をオンにしてください<sup>\*3</sup>。設定ファイルは読み込まれますが、AR020 と交換機間のリンクは確立しません。
2. manager でログインし、前述の手順 1 の3つのコマンドを順番に実行してください。RESTART ROUTER の実行で AR040、AR020 は正常に初期化され、設定ファイルが読み込まれます。
3. AR020 の ACT LED の点灯を確認してください。

---

\*1 VT100 互換のターミナルソフトウェアをご使用ください。

\*2 後述の「スクリプトファイルを利用する」(p.3) で作業の煩雑さを軽減できます。

\*3 RESTART REBOOT、単独の RESTART ROUTER コマンドによる再起動の場合も同様の手順が必要です。

## ファームウェア Ver.2.0.7 Pl.4

### ●これから AR740 に対する設定を開始する場合

1. ユーザー「manager」でログインし、最初に次の3つのコマンドを順番に実行した後に、設定作業を開始してください。これらのコマンドの入力により、AR040、AR020 が正しく初期化されます。

```
login: manager   
Password: friend   
  
Manager > MOD A=467600 S=B V=1   
  
Manager > MOD A=467680 S=B V=2   
  
Manager > RESTART ROUTER 
```

2. 以後の手順は、ファームウェア Ver.2.2.2 Pl.6 の場合と同様です。

### ●設定を施した後の再起動

ファームウェア Ver.2.2.2 Pl.6 の場合と同様の手順を実行してください。

## ファームウェア Ver.2.0.6 Pl.3 以前

Ver.2.0.6 Pl.3 以前のファームウェアをご使用の場合、AR740 に装着された AR040 の PIC ベイに、AR020 を装着してご使用になることはできません。Ver.2.2.2 Pl.6 または Ver.2.0.7 Pl.4 のファームウェアにアップグレードしてください。

## スクリプトファイルを利用する

前述の3つのコマンドを記述したスクリプトファイルを作成しておくことにより、作業の煩雑さを軽減することができます。スクリプトファイルは、AR740 に実装されているテキストエディターで作成するか<sup>\*4</sup>、コンピューターのテキストエディターで作成したものを ZMODEM や TFTP でダウンロードします。ここでは、AR740 のテキストエディターを使用する方法を示します。

1. manager で AR740 にログインします。
2. EDIT コマンドで新規ファイルを作成します。ここでは、ファイル名として「INITDEV.SCP」を仮定します。拡張子は「SCP」でなければなりません。EDIT コマンドの操作方法は、CTRL キーを押しながら K と H を押して表示され

---

<sup>\*4</sup> VT100互換のターミナルソフトウェアをご使用ください。Windowsに付属のハイパーターミナルをご利用の場合、「ファイル」→「プロパティ」→「設定」タブの「BackSpace キーの送信方法」で「Delete」を選択してください。

るヘルプ、または AR740 取扱説明書の「4.7 設定ファイルのエディタ」をご覧ください。

```
Manager > EDIT INITDEV.SCP 
```

3. 3つのコマンドを入力してください。

```
MOD A=4FD62C S=B V=1  
MOD A=4FD6AC S=B V=2  
RESTART ROUTER
```

```
Ctrl+K+H = Help | File = initdev.scp | Insert | Modified | 3:1
```

図 1 ファームウェア Ver.2.2.2 PI.6

```
MOD A=467600 S=B V=1  
MOD A=467680 S=B V=2  
RESTART ROUTER
```

```
Ctrl+K+H = Help | File = initdev.scp | Insert | Modified | 3:1
```

図 2 ファームウェア Ver.2.0.7 PI.4

4. 入力を終わったら、CTRL キーを押しながら K と X キーを押してください。保存するか否かを問われますので Y キーを押してください。

```
Save file ( y/n ) ?
```

5. スクリプトファイルの実行は、次のコマンドを入力します。

```
Manager > ACTIVATE SCRIPT=INITDEV.SCP 
```

## 恒久的対応

次回のファームウェアバージョンアップにて、恒久的な対応の予定でございます。最新のファームウェアの提供状況は、次の URL をご覧いただけますようお願い申し上げます。

```
http://www.allied-telesis.co.jp/support/ar740/download.html
```